

会 議 録

全部記録 要点記録

会議名	令和4年度 第1回 姫路市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和4年(2022年)5月26日(木) 16時00分～16時45分
開催場所	姫路市役所 本館10階 大会議室
出席者	(委員) 15名 古井委員、萩原委員、河南委員、稲田委員、小林委員、 中野委員、知原委員、竹内委員、田中委員、大野委員、 岩田委員、白井委員、谷川委員、福間委員、入江委員 (事務局) 6名 市民局長、市民生活部長、国民健康保険課長、他3名
欠席者	(委員) 6名
傍聴の可否及び傍聴人数	可 0人
議 事	議案第1号 ・令和4年度姫路市国民健康保険料率について 報告第1号 ・令和3年度姫路市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算見込みについて
会議の全部内容又は進行記録	別紙のとおり

発言者	内 容
議長	<p>本日の議題は、議案第1号「令和4年度姫路市国民健康保険料率について」、報告第1号「令和3年度姫路市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算見込について」である。</p> <p>なお、議案第1号については、事前に市長から本協議会に諮問をいただいている。</p> <p>まず、議案第1号「令和4年度姫路市国民健康保険料率について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>[議案第1号「令和4年度姫路市国民健康保険料率について」説明]</p>
議長	<p>議案第1号に関して、質問、意見等があれば承りたい。</p> <p style="text-align: center;">【 質問・意見なし 】</p>
議長	<p>議案第1号に関する質問、意見はないようなので、理解が得られたものとして、取り扱いさせていただく。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p>
議長	<p>議案第1号は、本協議会に諮問をいただいているので、審議結果を踏まえ、会議終了後に答申書をまとめることとする。</p> <p>次に、報告第1号「令和3年度姫路市国民健康保険事業特別会計歳入歳出見込みについて」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>[報告第1号「令和3年度姫路市国民健康保険事業特別会計歳入歳出見込みについて」説明]</p>
議長	<p>報告第1号に関して、質問、意見等があれば承りたい。</p>
委員	<p>資料21ページの歳出のうち、保健事業費の決算見込額が現計予算額と比べ、1億円ほど執行残が生じているが、その理由は何か。</p>

事務局	特定健康診査等事業費の減によるもので、特定健診受診率が想定していたより低かったことによる特定健診事業の委託料の減が主な理由である。
委員	特定健診受診率を上げることにより、病気などの早期発見につながるため、受診率が上がるようしっかりと啓発してもらいたい。
事務局	受診率を向上させるために、「ひめじ健康ポイント事業」など市独自の事業を推進しているところである。引き続き、受診率を向上させるために啓発していきたい。
委員	基金を6億円取り崩すと説明があったが、現在の基金残高はどれくらいなのか。
事務局	令和3年度に6億円を取り崩し、令和4年度も同額を取り崩す予定にしている。令和3年度末の基金残高は約33億円である。
委員	資料20ページの繰入金について、様々種類があるが、予算と決算の差が多く生じている理由は何か。
事務局	被保険者数や世帯数の減少が主な理由である。
委員	特定健診を受診することにより、肺がんを始めとするがんの早期発見につながるため、できるかぎり受診するよう啓発してもらいたい。 また、第三者行為について、当課の負担が増えることがないように慎重な対応をお願いしたい。
事務局	特定健診事業については、数項目ある通常の特健診のほか、令和3年度より人間ドック助成事業を始めるなど様々施策を実施しており、引き続き推進していきたい。 第三者行為については、引き続きレセプトをよくチェックするとともに、不明確な治療（レセプト）については兵庫県国保連合会へ照会するなど細かく慎重に対応したい。
議長	報告第1号に関する質問、意見は終わったようなので、理解が得られたものとして取り扱いさせていただく。

	(異議なし)
議長	以上で、本日予定していた議事は終了したが、せっかくの機会なので、議案以外で発言はないか。
委員	令和4年度の料率については、均等割と平等割を引き上げたため、低所得者の負担が増えることになる。当課に限らず、低所得者に不利益にならないよう配慮をよろしくお願いしたい。
事務局	低所得者に対しては、7割、5割、2割の軽減制度やコロナの影響がある場合はコロナ減免を始めとする減免制度を案内する、また、個別に納付相談を行うなどきめ細かに対応していく。過度な負担とならないよう今後も引き続き取り組みたい。
委員	令和4年度から、国民健康保険に加入している未就学児にかかる均等割額を減額する制度が採用されたが、子どもが多くなればその分世帯の負担が増えるため、無料になるような制度を検討してもらいたい。
事務局	国民健康保険の運営については、持続可能な制度とする必要がある。現状制度外の取り組みを独自に行えば、どこかにしわ寄せがいく。今後も被保険者の負担が増えないよう国にも要望していきたい。
事務局	これをもって、本日の協議会は閉会させていただきます。
	【閉 会】